

血液浄化装置 一式

仕 様 書

令和2年 10月

神奈川県立がんセンター

## 1. 調達物品名及び構成内訳

【調達物品名】血液浄化装置一式

## 2. 納入場所・期限

### (1) 納入場所

神奈川県立がんセンター（横浜市旭区中尾二丁目3番2号）  
病院棟 3E病棟

### (2) 納入期限

令和2年11月30日

## 3. 技術的要件

### 1. 当該機器について以下の要件を満たすこと。

- 1.1 急性腎不全などに対し持続緩徐式血液濾過透析(CRRT=CHD、CHF、CHDF、ECUM)を行う機能を有すること。
- 1.2 CRRTで行う流量計量については、除水精度向上のため一括で測定する方式であること。
- 1.3 CRRTで行う流量計量については安定的な治療のため外乱要因を排除する機能を有すること。
- 1.4 CRRTにおいて重症患者に対し、高流量の補液・透析液設定が必要なため液系ポンプの最大流量が5.00L/hr以上あるものが2個以上あること。
- 1.5 CRRTにおいて血液凝固トラブルを低減させるための工夫を血液回路に施していること。
- 1.6 脱血圧を数値で測定できること。
- 1.7 神経疾患、膠原病等に対する血漿交換療法(PE, DFPP, PA)を行う機能を有すること。
- 1.8 難治性腹水症に対し、CARTを行う機能を有すること。
- 1.9 薬物中毒、敗血症に対する血液直接灌流(DHP)を行う機能を有すること。
- 1.10 シリンジポンプに押し子はずれ検知機能を有すること。
- 1.11 シリンジポンプにサイズ検知機能を有すること。
- 1.12 シリンジポンプは各メーカーの20ml、30ml、50mlに対応すること。
- 1.13 臨床使用時に意図しない流量変更を行わない機能を有すること。
- 1.14 各種併用消耗品(カラム)から漏血を検知する機能を有すること。
- 1.15 血液回路内の気泡検知に関して気泡検知器を2個以上有していること。
- 1.16 脱血警報が発生し脱血圧が一定時間内に正常領域に復帰した場合に血液ポンプが自動的に動作する機能を有すること。
- 1.17 警報(異常)発生時にビジュアル的にガイダンスを表示する機能を有すること。
- 1.18 装置の臨床使用前に自動診断機能を有すること。
- 1.19 血液回路のセッティング時にビジュアル的にガイダンスを表示する機能を有すること。
- 1.20 適用療法毎に自動プライミング機能を有すること。
- 1.21 準備の煩雑な作業を軽減するために、血液回路・液系回路にパネル式回路を採用していること。
- 1.22 停電時に、血液ポンプを15分以上稼働させることができるバッテリーを有すること。

- 1.23 透析液および補液の液切れを検知できるクリップセンサーを2つ以上有すること。
- 1.24 透析液および補液を単独または、同時に加温する加温機能を有していること。
- 1.25 移動がスムーズに行えるようハンドルバーと大型キャスターを有すること。
- 1.26 透析液および補液を単独または、同時に加温する加温機能を有していること。
- 1.27 装置内部に臨床データを記録し、そのデータを外部デバイスを通じて取り出し簡便にパソコンで表示できる機能を有すること。

## 2. その他

- 2.1 納入後1年以内に、通常の使用により機器が故障した場合、無償で保証すること。
- 2.2 当該機器に必要な消耗品及び故障時の物品について供給が確保されていること。
- 2.3 機器故障に対して速やかに対応できるサービス体制を有すること。
- 2.4 調達物品の搬入および仕様を満たした据付、配線、調整等の工事について業者の負担にて行うこと。
- 2.5 当院職員に対して、納入時もしくは設置後の操作トレーニングを無償で実施すること。